

薬草の宝庫 伊吹山 をたずねて

岐阜薬科大学
酒井英二
写真：平林義章



滋賀県北東部の岐阜県境にそびえる伊吹山（1,377m）は、日本薬局方に収載された医薬品として取り扱われるものを含めて280種類あまりの薬用植物が自生し、その中で民間薬として伊吹山周辺の人々に愛用されているものが100種類を超えるといわれ、古来より「薬草の山」として知られている。

伊吹山の薬草にまつわる歴史を振り返りながら、薬草花盛りのシーズンに山肌や登山道脇に美しく可憐に咲き誇る薬草たちに目を凝らしながら登頂を試みたのだが、改めて伊吹山が「薬草の宝庫」であることを再認識した山行であった。

